

フォルトネット



フォルトネット Facebook : <https://www.facebook.com/fnet5816/>



<フォルトネットとは>

ーお茶を飲みながらおしゃべりしたり、好きなことを自由にやってみようー

ひきこもりや、不登校などの悩みを抱えている親御さんを対象とした、「家族会」を開いたり、ひきこもりや不登校の当事者の居場所となるようにとオープンスペース「ねころんだ」を開設・運営したりと、様々な活動をしています。

団体の運営は、当事者や体験者の家族が中心となって行っています。

「フォルトネット」という名前は、イタリア語で“幸運”を意味する『フォルトゥナ(Fortuna)』から <フォルト>を、つながりを表す『ネットワーク』から<ネット>を結び付けた造語です。

何か決まったことをしなきゃいけない、ということではなく、**何でも好きにしようよ、やってみようよ**、という団体です。
自由におしゃべりして、お菓子を食べたりのんびりしたり、そんな“居場所”を目指しています。



「ねころんだ通信」やチャラシなど
すべて、分じろう1階ラウンジで見ることができます

くいつ、どこで、どのような活動をしていますか？>

ー「ねころんだ」は毎週火・木曜日の午後1時～4時まで開いていますー

フォルトネッス
お茶にしようじゃねえ会
— DVD上映会 —
十日町市民交流センター分じろう 十日町市4町2丁目
参加費 各300円

ひまこもりからの回復
6月5日(土)13:30～「私がひまこもった理由 回復へのヒントを得る」92分
7月3日(土)13:30～「私がひまこもったとき 家族の役割と支援」73分
8月7日(土)13:30～「あなただけ一人じゃない 様々な支援の糸・地域」75分

うつ病
9月4日(土)13:30～「うつ病って何だろう」40分
10月2日(土)13:30～「うつと生きる」104分
11月6日(土)13:30～「ふたたび笑顔へ」82分

終活講座
12月4日(土)13:30～「理解と両立のために」53分
1月8日(土)13:30～「理解と両立のために」80分
3月5日(土)13:30～「理解と両立のために」80分

上映後に座談会を開催します
お茶にしようじゃねえ会に引き続き、お茶にしようじゃねえ会を開催します。
お茶にしようじゃねえ会に引き続き、お茶にしようじゃねえ会を開催します。

主催：フォルトネッス
共催：十日町市民交流センター分じろう
後援：十日町市教育委員会
十日町市教育委員会

フォルトネッス
家族の傾聴会
十日町市民交流センター分じろう 十日町市4町2丁目
毎月第4木曜日 19:00～
※8月は第3木曜日・9月は第5日のため第5木曜日

6/24
7/22
8/19
9/30
10/28
11/25
12/23
1/27
3/24

主催：フォルトネッス
共催：十日町市民交流センター分じろう
後援：十日町市教育委員会
十日町市教育委員会

【オープンスペース ねころんだ】※予約不要※

日時：毎週火・木曜日、13:00～16:00

場所：ねころんだ(十日町市昭和町1)

【お茶にしようじゃねえ会】 ※予約不要※

日時：毎月第1土曜日、13:30～

※2021年度は2月のみお休みです

場所：分じろう

【家族の傾聴会】 ※予約不要※

日時：毎月第4木曜日、19:00～

※2021年度の8月は第3木曜、

9月は第5木曜開催です

場所：分じろう

(左) お茶にしようじゃねえ会の年間予定表、

(右) 家族の傾聴会の年間予定表

[分じろう/十じろう HP](#)にも掲載しています

ほか、不定期で「ねころんだ展」を十じろうのギャラリーで

開催したり、[とおかまち市民活動見本市「めっかめっか」](#)や、

[「こどもまつり」](#)などの市内イベントに参加したりしています。

<昨今の新型コロナウイルス感染症禍において、貴団体へどのような影響がありましたか？>

ー活動の場が減ってしまっていますー

イベントが減ってしまい参加できず、活動の場自体が
減っています。

また、様々な不安や理由から、オープンスペース
「ねころんだ」に来ることが難しくなってしまった人も
います。

活動中は密にならないように心がけています。



ねころんだのかわいいマスコット犬「あさひ」君

オープンスペース「ねころんだ」に集まる人たちに囲まれて

寛いでいます

<貴団体では新型コロナウイルス感染症についてどのような対策を実施／予定していますか？>

－消毒などの感染予防の他、見守り活動を続けています－



「ねころんだ Life」

表紙のかわいい肉球マークの数は、発行巻数と
なっていて、どんどん増えていく予定です

昨年[ひとサポさん](#)の「新型コロナウイルス感染症予防対策応援補助金」の助成で消毒液などを購入し、オープンスペース「ねころんだ」やイベント参加時に配置しました。

また、「ねころんだ」のトイレに飛沫防止対策を行いました。

個別の対応としては、外に出ることが難しい人たちには不定期ですがメールを送ることで、“**見守る**”活動を続けました。

また、その見守りの一環として、広報誌「ねころんだ Life」を発行しました。こういった冊子を「発行するよ」と、実際に声掛けをすると、具体的な締切が見えることなどから、やる気になってくれる人も多いのです。

今後も広報誌として、コロナ禍でなくても継続して作っていきたいと考えています。

初版は「[とおかまち市民活動助成金](#)」を利用して発行しました。

※「ねころんだ Life」は分じろう・十じろうにて発売中です。

<今後の活動について展望をお聞かせください>

－「あしあと」の第2弾を作りたい－

「あしあと」の第2弾をぜひ作りたいですね。

2019年に発行した第1弾の「あしあと」(全220ページ)については、引き続き販売中ですが、最近は電子書籍化のお話もいただいています。

とてもありがたいお話なのですが、電子書籍化することでのメリット・デメリットや、リスクなどを慎重に検討したいと思います。



「あしあと～ひきこもり発 地域社会行き～」
こちら分じろう・十じろうにて販売中です

<次回開催のこどもまつりについて、何か要望やご意見等ありましたら教えてください>

ー開催できること自体がとても嬉しいー



こどもまつりでのようす(2018年)

例年、パンなどの食べやすい軽食から、雑貨など
手に取りやすいものを販売しています

これといって要望はありませんが、今後もずっと開催してほしいと思います。

2020年は開催することができず、とても残念でしたし、毎年開催できることが当たり前ではないのだと実感しました。参加することにより意義があると思っていますので、開催できること自体がとても嬉しいです。

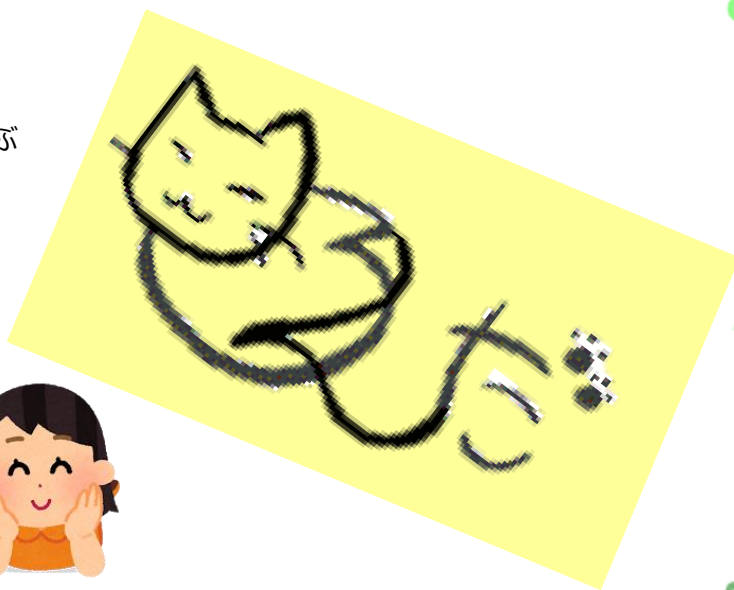
<フォルトネットからのメッセージ>

ー“こどもまつり”のようなイベントに、ぜひ子どもと一緒に来てくださいー

こどもまつりにぜひ、お子さんと一緒に来てみてください。

手作り感や温かみをぜひ感じてほしいです。

お金を使うばかりが遊びではなく、頭や体を沢山使って遊ぶことの楽しさをぜひ、感じてほしいです。



取材日：2021年6月17日